

SPA901 で音声が片方向だけになる

目次

[概要](#)

[NAT デバイスまたはファイアウォールの背後に ATA デバイスを設置していますが、コールを発信できないか、または一方向接続だけを受信します。どうすればよいのですか。](#)

[関連情報](#)

概要

この記事は、Cisco Small Business 製品 (以前の Linksys Business シリーズ) のセットアップ、トラブルシューティング、およびメンテナンスを支援するドキュメントの 1 つです。

[Q. NAT デバイスまたはファイアウォールの背後に ATA デバイスを設置していますが、コールを発信できないか、または一方向接続だけを受信します。どうすればよいのですか。](#)

A.

ステップ 1 :

現在 Linksys ATA デバイスにより使用されている IP アドレスに「TCP ポート 80」をポート フォワーディングするようにルータを設定します。この操作を頻繁に行う場合は、DHCP ではなく ATA デバイスの静的 IP アドレスを使用することをお勧めします。(ポート フォワーディングについては、ご使用のルータのドキュメントを参照してください。)

ステップ 2 :

管理 Web サーバの [EXT] タブで、[Nat Mapping Enable] の値を [yes] に変更します。[SIP] タブで [Substitute VIA Addr] を [yes] に変更し、[EXT IP] パラメータをご使用のルータの IP アドレスに変更します。

[SIP] タブ :

ステップ 3 :

UDP ポート 5060、5061、および UDP パケット用のポート (範囲 : 16384 ~ 16482) をブロックしていないことを確認します。また、「SPI」がファイアウォールにより提供される場合は SPI を無効にします。ATA デバイスの登録先 SIP サーバで NAT がサポートされている場合は、SPA-901 の [EXT 1] の [Outbound Proxy] パラメータを使用して、この SIP サーバを識別します。

ステップ 4 :

UDP パケットが NAT デバイスを經由できるようにするため、STUN サーバを追加します。管理 Web サーバの [SIP] タブで [STUN Enable] を [yes] に設定し、[STUN Server] に STUN サーバの IP アドレスを入力します。STUN (Simple Traversal of UDP through NAT) は、RFC 3489 で定義されているプロトコルであり、NAT デバイスの背後にあるクライアントが、自分のパブリックアドレス、前面にある NAT のタイプ、およびインターネット接続で特定のローカル ポートに関

連付けられているポートを確認できるようにするものです。この情報は、NAT ルータの背後にある 2 つのホスト間の UDP 通信をセットアップするために使用されます。オープンソースの STUN ソフトウェアは次の Web サイトから入手できます。

<http://www.voip-info.org/wiki-Open+Source+VOIP+Software>

[SIP] タブ :

注: STUN は対称 NAT ルータでは機能しません。syslog を使用したデバッグを有効にし (手順については [ここ](#) をクリック)、[STUN Test Enable] を [yes] に設定します。メッセージは対称 NAT があるかどうかを示します。

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)